

ものづくりは人づくり

「考える子ども」を育てる

三豊市少年少女発明クラブが、今、とても元気です。県内だけでなく全国の発明くふう展にも入選を果たし、未来の発明家や科学者誕生も夢ではありません。登録者数も増え続け盛り上がりを見せる同クラブの、元気の秘密に迫ります。



これからの活動計画

今年度は20回の活動を実施しています。これからの主な活動を紹介いたします

◆母とよロボットコンテスト

日時 8月16日(日)
午後2時～4時
場所 マリンウエーブ



ロボットコンテスト

◆仁尾八朔人形まつり作品展示

日時 9月19日(土)～21日(月)
午前9時～午後7時
場所 仁尾町文化会館周辺



仁尾八朔人形まつり

◆科学体験学習

日時 10月3日(土)
午前9時～11時
場所 詫間電波高専
協力 四国電力



科学体験学習

◆おもしろ科学実験

日時 11月21日(土)
午前9時～11時
場所 詫間電波高専

◆手作りロボット教室
日時 平成22年1月23日(土)
午前9時～11時
場所 詫間電波高専



ロボット教室

問い合わせ
地域振興課

73・3013

クラブ立ち上げ

発足のきっかけは、5年前の旧高瀬町の時代にさかのぼります。クラブの会長である山路敏江さんが香川県知的所有権センターを訪ね、現指導員の矢野秀明さんと出会ったのが、



発明クラブ会長
山路敏江さん

山路敏江さんの声

子ども同士で発表し合うことや、他の学校の人と友だちになることで、自信を持つたり交流の輪が広がります。子どもの可能性は未知のもので、きっかけさえあればどんどん広がる。総合的な人間づくりを目指しています。アイデアづくり、ものづくりの楽しさを、保護者にも高齢者にも広げていきたいですね。



登録者数181人

平成18年1月1日、7町が合併し三豊市が誕生。クラブ員も各町への広がりをみせ、今年4月1日現在の登録者数は181人と、驚異的な伸びとなっています。小学校高学年以上になるとスポーツや部活動に忙しくなることもあり、主なクラブ員は小学校低学年が中心ですが、ずっと続けたいとの声も聞こえます。

詫間電波高専が応援協力

平成20年11月に初めて香川の発明くふう展へ出品。受賞23点のうち4点が三豊市のクラブ員でした。これ

スタッフの声



指導員
矢野秀明さん

知的財産研究会に参加して山路さんに出会ったのが始まりです。子どもたちは、自分で考え、材料を持参して大人が考えもつかないようなアイデアいっぱい作品を作ります。私は、子どもが困ったときに少し技術的なアドバイスをするだけ。発明クラブに参加することは自分もおもしろいし、何より子どもたちといっしょに楽しめることが喜びです。

会員の声



豊嶋哲也さん・
ひかりさん親子

(父) 子どもの友だちと毎回参加しています。自主性など本来子どもが持っているものが現れてくると思います。自分も子どもといっしょに作るのがおもしろいですね。
(子) 材料は家から持ってきて、何をやるかは自分で考えています。いろいろ作れるのが楽しい。



香川県知的所有権
センター
黒田 茂さん

アドバイザーの声

指導員が大変熱心ですね。詫間電波高専のおかげでレベルの高い指導が行われており、考える力を伸ばしたり、やる気をおこさせるような、非常にいい方向へ向いていると思います。お金をかけずに、こんなに短期間で賞を取れるレベルにまでするのは驚きです。
今後に望むことは、人数が多いために、全体のレベルの底上げが必要だと思えます。保護者に考え方を浸透させることも大切です。

ものづくりの楽しさを 広げたい

子どもの無限の可能性と作る喜びを感じながら活動する人たち。ボランティアスタッフの熱い思いが活動の原点となり、クラブの元気を支えています。
ノーベル賞受賞者が三豊市から生まれる楽しみもできてきました。

